

各店舗オーナーの自己紹介

世界のお茶の専門店Y's teaオーナー 根本泰昌（ねもとやすまさ）氏

【出生年、出身地】

1974年 宇都宮市出身

【Y's teaとは】

手作業でブレンドした「世界で1つだけのお茶」を通して、人と地域が元気になる事を夢見るティールームです。

【Y's teaオープンまで】

大塚製薬(株)に10年勤務。退職前はカロリーメイトの商品担当（制作・CM）を務める。毎日誰もが美味しく健康で笑顔になるものを模索した結果、紅茶とハーブティーに辿り着き、地域活性が最も必要なオリオン通りにて「世界のお茶の専門店Y's tea」をOPEN、現在に至る。

【Y's teaと地域への思い】

当店はティールーム兼、「お客様の第2の部屋」、そして「街づくりの拠点」を目指しています。商店街の活性に向けて、地域の人との繋がりを重視し、市民団体「街づくり大学」も開校。代表を務めています。モットーは”楽しく継続していく事”

悠日（ゆうじつ）オーナー 柏崎健次（かしわざきけんじ）氏

【出生年、出身地】

1952年生

【悠日とは】

悠日は盆栽のギャラリーとしてはじめました、その後ギャラリースペースが増え。カフェ兼イベントスペースとしての悠日カフェも営業中です。

【悠日オープンまで】

南宇都宮駅の南側に自宅があって栃木に帰った20年前からこの蔵が面白いなと思ってました。知合いの伝でこの場所が借りられることを知り（いろいろ面白い偶然があります）事務所兼ギャラリーとして営業開始しました。本業はレンタルサーバー業です。

【悠日と地域への思い】

もともとまちづくりとかの考えはあまり無かったのですが、形が出来上りつつある今は、南宇都宮という地名を使ったイベントでこの周辺が面白く変わればと思っています。

日光珈琲饗茶庵オーナー 風間教司（かざまきょうじ）氏

【出生年、出身地】

1975年、鹿沼市出身

【日光珈琲饗茶庵とは】

2009年4月オープン。日光市今市の路地裏に3年の月日をかけ、明治時代に建てられた連れ込み宿を再生したカフェです。

【日光珈琲饗茶庵オープンまで】

大学卒業後、営業職を経て1999年鹿沼市の自宅を改装しカフェ饗茶庵オープン。2003年饗茶庵隣に空家を利用した、イベントスペース花蓮オープン。2006年より創業支援・チャレンジジョブ事業「ネコヤド大市開催」。今市に廃屋を見つけ2007年珈琲豆焙煎卸・根古屋珈琲研究所を設立。2009年日光珈琲饗茶庵オープン。

【日光珈琲饗茶庵と地域への思い】

日光市に残る貴重な資産・・・自然、風土、歴史、文化、建物、コミュニティーを生かし、住む人・来る人・移り住む人を結ぶ。それが、日光珈琲のカフェとしての役割だと思います。

ゲストコメンテーターの紹介

阿久津 新平氏 日光市出身

有限会社睦和建築設計事務所 一級建築士

保育所／老人福祉施設／障害者福祉施設／診療所・医院／商業施設／一戸建住宅／低層長屋・共同住宅など数多くの建築プロジェクトを手がける。

高岡 耕子氏 宇都宮市出身

有限会社マスタープラン代表 マーケティング・プランナー

県内外の多くのイベント等を手がける。イベントの効果分析も得意とする。

村瀬 正尊氏 小山市出身

(株)マチヅクリ・ラボラトリー代表取締役

(株)ジャパンエリアマネジメント取締役

まちづくりプランナー

全国各地のまちづくり（商店街活性化、中心市街地活性化、まちづくり人材育成など）に取り組む。

